

「粉体技術」原稿執筆要領

一般社団法人日本粉体工業技術協会
「粉体技術」編集委員会

重要ポイント

1. 幅広い読者に分かりやすいように平易な表現で執筆をお願いします。
2. 図表のキャプション、図表中の文語・文章は必ず和文（MS P明朝）でお願いします（英文不可）。
3. 単位は国際単位系（SI）で、年号は西暦で統一してください。
4. 執筆者の責任において発行所（出版元）ならびに現著者の承諾を得てください。
・・・詳細は、本執筆要領を参照ください・・・

1. はじめに

執筆にあたっては、別途定める「粉体技術」編集基本方針に沿って、幅広い読者に分かりやすいように平易な表現で執筆をお願いします。

1-1 英文表題

英文表題を必ずおつけください。また冠詞（a, an, the、他）・前置詞（at, on、他）以外の単語の頭を大文字にして下さい。

（例：Relationship between Flowability and Particle Size Distribution of Powders）

1-2 見出し

本文の区分けは、大見出し 1.、2.、……、中見出し 1-1、1-2、……、小見出し 1-1-1、1-1-2、……、はそれぞれゴシック体で、それ以下は (1)、(2)、……、(a)、(b)、……、としてください。

2. 文章・文体

本文は、原則として「である調」で常用漢字と現代かな使いにより、分かりやすく書いてください。固有名詞（人名、地名、書名、誌名など）は和文でなくてもかまいませんが、それ以外は和文でお願いします。句読点は「、」および「。」で統一してください。

文章構成は必ず「はじめに」で始まり、最後は「おわりに」でしめて下さい。

下記文字は全て“ひらがな”を使用して下さい。

ように（様に）、など（等）、こと（事）、および（及び）、または（又は）、できる（出来る）、ある（有る）、いただく（頂く）、いう（言う）、ため（為）

3. 文字数

印刷は、A4判1頁2,024文字（2段組×46行×22文字）ですので、依頼された頁数の目安としてください。（写真、図表は1点につき250文字減となります。）

4. 記号、数式、年号などの書き方

4-1 単位系

単位は国際単位系 (SI) で統一してください。

例: kgf/cm²、mmH₂O→Pa、kgf→N

4-2 記号、数値

量記号、単位記号および化学記号は JIS Z 8202 に、数学記号は JIS Z 8201 にできるだけ準拠してください。要点を示すと次のとおりです。

- 量記号は斜体

例: m (質量)、 ρ (密度)、 p (圧力)、 τ (せん断応力)、 x (粒子径)

- 無次元パラメータおよび基本常数は斜体

例: Re 、 Pe 、 Fr 、 Kn 、 k (ボルツマン定数)、 R (ガス定数)

- 単位記号は直立体 例: Pa、N/(m²·s)、kg/m³、rad·s⁻¹

- 記号に続く単位はカッコ () に入れ、数値に続く単位はカッコに入れないでください。

例: τ (N·m⁻²)、 1.013×10^2 kPa

- 化学記号は直立体 例: CO₂、C₂H₄、SiCl₄

- 数値は直立体 例: 1、3.1416、 4×10^3

- 数学記号で定数、演算記号は原則として直立体、変数記号は斜体

例: e 、 \exp 、 \lim 、 du/dt の d は直立体、 u 、 t は斜体

- ベクトルは斜体+太字 例: v 、 σ 、 A

- 添え字は上付き、下付き文字ともに直立体 例: D_N 、 s^{-1}

4-3 年号

年号は西暦で統一してください。(事業年度などの記載は和暦も可)

5. 図表類

図や表は必ず白黒に変換して投稿をお願いします。プレゼン用のパワーポイントファイルを流用される場合は再編集の上、投稿下さい。またホームページから画像をコピーしないでください。

図表の文字は、必ず明朝体としてください。

5-1 図表類の作成ポイント

(1) 必ずモノクロ印刷になることを前提として作成してください。

(2) 文字について

文字色はすべて黒で統一のこと。投稿時にボールド(太字)を解除して下さい。字体は明朝体で統一して下さい。なおテキストボックスで文字を入力する場合、文字の背景に色を入れるのは不可です。

(3) 線は黒で、線種で区別してください(実線、破線、一点鎖線)。また線の太さは0.34Pt (0.12mm)としてください。(カラーは不可)

(4) マーカーは、×や-は不可。原則として、○●△▲□■◇◆で作成してください。

(5) 図表など作成する際には、一段組の場合は左右170.39mm以下、二段組の場合は81.49mmが版面ですので考慮して作成してください。

(6) 引用された図や表、写真の文字は再度打ち直して下さい。

(7) 図のキャプションおよび図表中の文章は必ず和文をお願いします。

例: 図-11 ロスイン供給テスト

「図-11」はゴシック体 全角スペース後キャプションを和文明朝体をお願いします。

5-2 写真について

写真はデジタルカメラの電子データでもプリント物でも OK です。ただし文字を書き込む場合は白抜きをお願いします。右の事例では文字が見えなくなります。

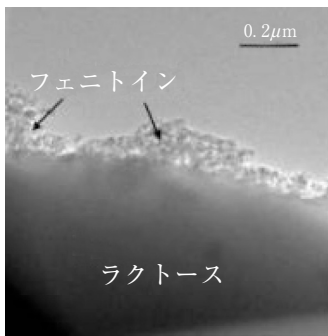
原稿に写真のある場合は、必ず貼り付け前のデータも別途送付してください。

写真のキャプションは必ず付けてください。

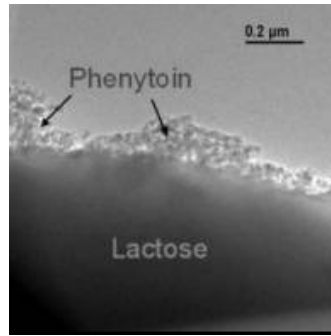
→写真-11 スクリュー全形

「写真-11」はゴシック体 全角スペース後キャプションを和文明朝体でお願いします

●良い例



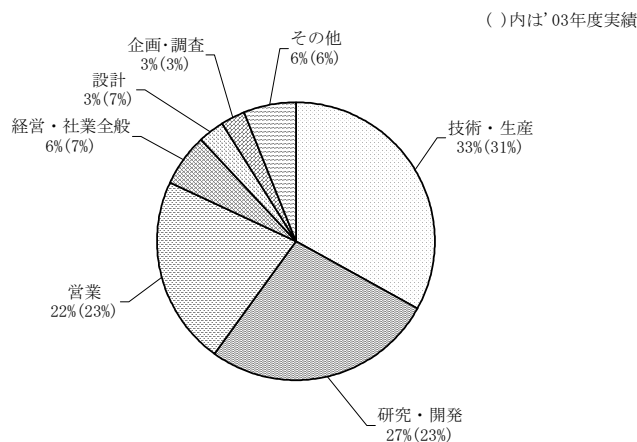
●悪い例



5-3 事例集

5-3-1 色だけでグラフの判別をするのは不可能

Excel で作成時、グラフエリアの書式設定で「輪郭なし」にさせていただき、色はつけず模様で区別することとしてください。字体は明朝体としてください。



5-3-2 表作成のポイント

悪い例では枠線が太すぎて印刷した場合には表が汚く見えます。また文字にもボールド（太字）が入っており、これも印刷した場合汚く見えます。

良い例

	1	2	3
分級	25	30	28
粉碎	13	15	20
集塵	0	7	3

悪い例

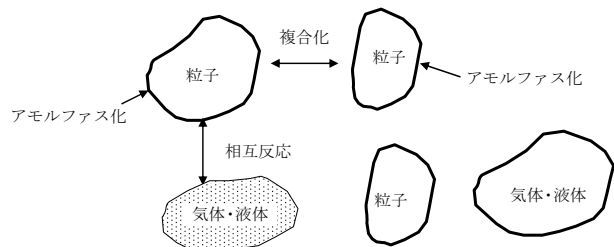
	1	2	3
分級	25	30	28
粉碎	13	15	20
集塵	0	7	3

5-3-3 プレゼンテーション用の図を投稿用の図に転用する場合

枠内の文字は明朝体および和文で打ち直して下さい。

(1) 良い例：

雑誌投稿用に変更し字体も明朝体にする。
矢印や線も 1 pt 以下にして下さい。

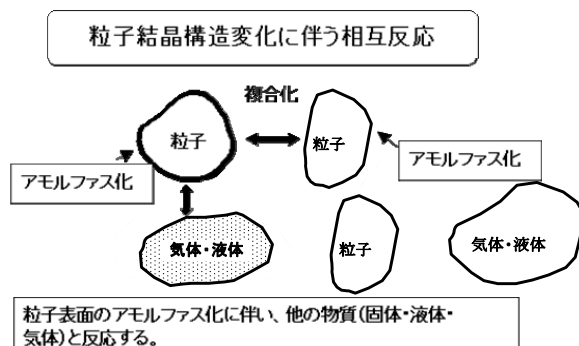


粒子結晶構造変化に伴う相互反応

※粒子表面のアモルファス化に伴い、他の物質(固体・液体・気体)と反応する。

(2) 悪い例：

プレゼンテーション時のレイアウトのまま



(3) ポイントのまとめ

- (a) 文字のボールド(太字)ははずす。文字色はすべて黒。
- (b) 文字の背景は無色に。
- (c) 色塗りはやめてハッチングに。
- (d) 図中に説明文の書き込みはしない。(本文で言及)

5-4 引用文献

著作権の関係から既発刊の内容を引用される場合、執筆者の責任において発行所(出版元)ならびに原著者の承諾を得ていただくとともに、必ず引用文献を付けてください。書き方は、書籍の場合、筆者：表題、版数(巻数)、出版社、頁数、発行年。雑誌の場合、筆者：表題、雑誌名、巻数、(号数)、頁数、発行年の順に記載願います。欧文の場合、雑誌名はイタリック体としますので、その部分の下に波線を引いてください。また、巻数はゴシック体としますので、数字の下に実線を引いてください。

波線や実線は該当箇所を確認をさせていただくためであり、印刷はされません。

引用文献

- 1) 井伊谷 鋼一：“集塵工学”、日刊工業新聞社、p. 96 (1980)
- 2) Horizoe, M., R. Itoh and K. Gotoh：“Uniform Dispersion of Fine Particles in a Magnetic Fluid and its Evaluation”, *J. Soc. Powder Technol., Japan*, **31**, p. 151 – 156 (1994)
- 3) 田中達夫：“複数の粉碎機または分級機を含む種々の形式の閉回路粉碎の設計法”、粉体工学会誌、**31**、p. 333 – 341 (1994)

5-5 参考文献

引用文献以外(本文に引用がないもの)は参考文献として下さい。

6. 原稿提出

原稿提出時には、基データと出力紙を同時に提出して下さい。

(附則)

この執筆要領の改訂は、編集委員会の承認を得た日から発効する。

(付記)

平成20年12月6日制定

平成21年3月14日一部改定 (委員会承認)

平成21年6月13日一部改定 (委員会承認)

平成22年12月4日一部改定 (委員会承認)

平成23年12月15日一部改定 (小委員会承認)

平成27年9月12日一部改定 (委員会承認)